



2021年1月8日

各 位

会 社 名 理研ビタミン株式会社
代表者名 代表取締役社長 山木 一彦
(コード番号 4526 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 池田 航
(TEL 03-5362-1315)

東京証券取引所による「改善報告書」の徴求および「公表措置」の実施について

当社は、株式会社東京証券取引所より、本日付で有価証券上場規程第502条第1項第1号に基づく「改善報告書」の提出を求められ、同規程第508条第1項第1号に基づく「公表措置」が実施されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 改善報告書の徴求および公表措置の実施の理由

当社は、2020年9月23日、当社における不適切な会計処理に関する特別調査委員会の調査報告書を開示し、同月30日、過年度の決算短信等の訂正を開示しました。また、同年10月28日、決算短信等の訂正を再度行い、2016年3月期から2020年3月期までの訂正後の連結財務諸表について監査意見を表明しない旨の監査報告書等を受領した旨を開示しました。さらに、同年11月13日、当社における不適切な会計処理に関する特別調査委員会の第二次調査報告書を開示し、同月16日、2021年3月期第2四半期の四半期連結財務諸表について結論を表明しない旨の四半期レビュー報告書を受領した旨を開示しました。

これらにより、当社海外子会社である青島福生食品有限公司（以下「福生食品」という。）において、エビの加工販売取引及び棚卸資産について不適切な会計処理が行われていたことが明らかになりました。

その結果、当社は、2016年3月期から2020年3月期までの決算短信等において、上場規則に違反して虚偽と認められる開示を行い、2019年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が3割以上減少したとの指摘を受けました。

このような開示を行った背景として、以下の点を指摘されました。

- ・福生食品買収以降、長年に亘り当社元代表取締役会長が福生食品の管理を担い、他の取締役・監査等委員の監視・監督機能が十分に発揮されなかったこと
- ・当社は、福生食品には他の海外子会社と異なり当社から派遣した役職員を常駐させず、その業務執行状況を積極的に把握しようとしなかったこと
- ・長年に亘り、当社元代表取締役会長は福生食品の管理を属人的な信頼関係に基づき特定の人物に委ね、上場会社の子会社として必要な全社統制が構築されなかったこと

- ・当社は、海外子会社の全般的な管理・指導を行う部署を国内に設けておらず、また、内部監査部門の人員不足により海外子会社における監査が不十分であったことなど、海外子会社の管理体制・運用状況が不十分であったこと

以上のとおり、本件は、当社の適時開示を適切に行うための体制の不備に起因して、投資者の投資判断に相当な影響を与える虚偽と認められる開示が行われたものであり、当社の適時開示体制について改善の必要性が高いと認められることから、その経緯及び改善措置を記載した報告書の提出を求められることとなりました。

また、本件について、公表を要するものと認められることから、公表措置が行われることとなりました。

2. 今後の対応

株主や投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆さまに、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

この度の東京証券取引所からの処分を真摯に受け止め、当社のすべてのステークホルダーの皆さまからの信頼回復に全力で努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

以 上